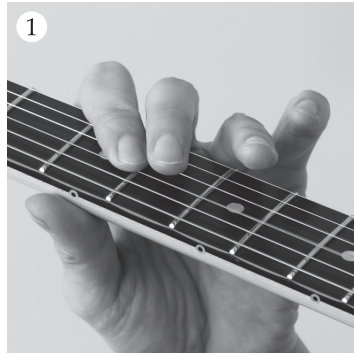


注意点1

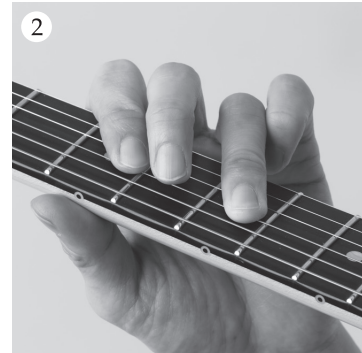


1本指を斜めに傾けて  
2本弦を的確に押さえよう!

メイン・フレーズは、異弦同フレットのコードを人差指、または薬指1本で押さえることがポイントになる(写真①&②)。指をやや斜めに傾けて、指の腹部分を使って押弦するとよいだろう。指を寝かせ過ぎると3本弦を鳴らしてしまうことがあるので、第一関節をやや曲げて2本弦のみを的確に押さえるようにしてもらいたい。



1 メイン・フレーズ1小節目1拍目オモテ。人差指をやや傾けて、4&3弦5fをしっかりと押さえよう。



2 1小節目2拍目ウラ。薬指の第一関節をやや曲げることで、4&3弦の2本弦のみを的確に押弦できる。

注意点2

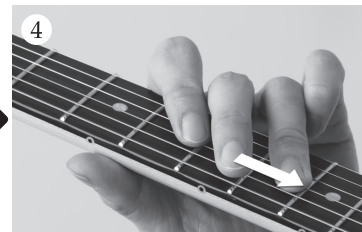


指が弦から離れるのはNG!  
弦の上を滑りながら移動せよ

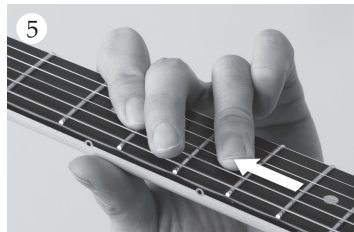
メイン・フレーズ2小節目3&4拍目はコードが細かく変わっていくので、左手の運指に気をつけよう(写真③~⑥)。薬指は、指を弦から離さずに横に滑らせていくように動かすとよい。4拍目オモテの4&3弦7フレット(薬指)の押弦時に、5フレット上に人差指を待機させておくと、コードをスムーズに変えることができる。



3 メイン・フレーズ2小節目3拍目。薬指で4&3弦を押弦。



4 薬指を弦から離さずに、1f分上げよう(4&3弦8f)。



5 4&3弦7fに戻る際に、人差指を5f上に置いておく...



6 コードをスムーズにチェンジすることができる。

~コラム3~

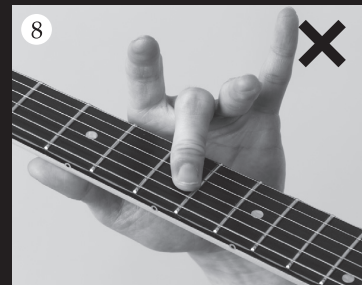
地獄の戯れ言

異弦同フレットは、人差指や薬指1本だけではなく、薬指と小指で押さえることもある(写真⑦)。このフォームは、薬指の第一関節が反らない人や異弦同フレットを同時にチョーキングする時などに使うとよいだろう。ちなみに、中指1本で押さえると、フレーズを滑らかに繋げていけないことがあるので気をつけよう(写真⑧)。

バリエーションを頭と指に叩き込め!  
異弦同フレットの押弦に関する考察



異弦同フレットを薬指と小指で押さえるフォーム。チョーキングが弾きやすいなどのメリットがある。



異弦同フレットを中指で押さえると、適切に発音ができなかったり、音を滑らかに繋げられないことがある。

【第一関節をやや曲げて】 関節を無理に曲げようとするケガに繋がるので、少しずつ柔軟にしていけることが大切。ちなみに、5弦ルートのメジャー・コードの押弦は、薬指の第一関節のストレッチにもなる。